

製品名: Gli3 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe84339

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB, ICC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.71mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:2000, ICC 1:50-1:200 |
| 分子量 | Calculated MW: 170 kDa ; Observed MW: 190 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | Gli3 |
| 別名 | ACLS; GCPS; GLI3; GLI3FL; PAPA; PAPA1; PAPB; PHS; PPDIV;;GLI3 |
| 遺伝子 ID | |
| SwissProt ID | P10071 |
| 免疫原 | ヒト GLI3 由来の合成ペプチド |

背景

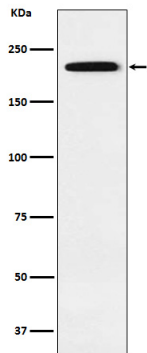
ソニックヘッジホッグ (Shh) 経路の転写活性化因子と抑制因子という二重の機能を持ち、四肢の発生に関与する。リン酸化および核

移行後の全長 GLI3 (GLI3FL) は活性化因子 (GLI3A) として機能し、C 末端切断型 GLI3R は抑制因子として機能する。

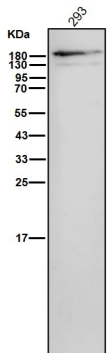
研究分野

-

画像データ



293 細胞溶解物中の Gli3 発現のウェスタン ブロット分析。



すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。